

令和5年5月17日

「高松園舎 手作りおやつの日～園庭の柏の葉を使った柏餅～」

高松園舎には、園庭に香川県では珍しい大きな柏の木があります。保護会がその柏の葉を採り、手作りの柏餅を作り、園児と一緒に食べる行事があります。

第4代主事の植松辰美教授が、ブナ科植物の研究者、藤原滝雄氏（高松市在住）に依頼し、昭和62年（1987年）に柏の木が植樹されました。

高松園舎保護会『わかうめ会』が、毎年、その柏の葉を使い、「園児のために」という思いで、手作りの柏餅を作っています。

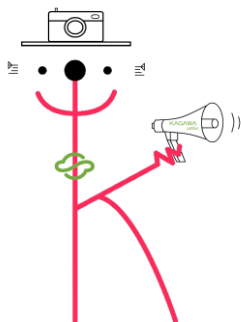
令和5年（2023年）1月には、このエピソードが絵本になり、園児に読み聞かせされています。

つきましては、是非取材くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

日時 5月19日（金）10：00頃 保護会が作った柏餅をいただく
絵本『かしわのき』の読み聞かせ

場所 高松園舎 各保育室 ※園内に駐車場はございません。

参加者 ・園児 うめ組（年中）18名
さくら組（年長）29名
・教員 7名
・保護会 10名程度



➤ お問い合わせ先
香川大学教育学部附属幼稚園 高松園舎
教頭 安富 慶幸（やすとみ よしゆき）
TEL：087-861-2393
FAX：087-861-2340
E-mail：ensya@kagawa-u.ac.jp